

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870300864
法人名	有限会社三幸
事業所名	グループホームつしま
所在地	宇和島市津島町高田甲83-1
自己評価作成日	平成23年5月20日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成23年6月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>自宅に近い暮らしが出来、希望に応じては看取りにも取り組んでいる。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>小学校からの依頼を受けて、管理者は、市社協のケアマネジャーとともに、福祉学習の授業で「認知症について」お話をされた。翌日には、小学6年生の児童が事業所に遊びに来てくれ、利用者や輪投げやお手玉と一緒に遊び、子ども達から「おばあちゃんすごいね」という声も上がったようだ。又、小学校の学習発表会に招かれ、子ども達が作成した「認知症の劇」も見せてもらった。津島の夏祭りでは、利用者や職員も地域の方達と輪になって盆踊りを踊ったり、事業所周りの田んぼに植えられるコスモスの種まきや種ひろい等、地域の活動へも参加しておられる。</p> <p>職員は、毎日「気づきノート」に、自分が行って「うまくいったこと」「失敗したこと」「ご家族から聞いたこと」等を記入するようになっており、全職員が内容を共有して、他の職員の考えを知ったり、ケアのヒントとして活用されている。法人は社宅を所有しており、職員は必要に応じて社宅に住み、働ける環境が作られている。</p>

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目: 9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目: 11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目: 28)		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームつしま

(ユニット名) はまゆう

記入者(管理者)
氏名 土居松美

評価完了日 平成23年5月20日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 入所者さんが穏やかにその人らしく暮らせるよう支え、家族に信頼して頂けるよう、努力している。	
			(外部評価) 事業所では「穏やかにその人らしく過ごせる日々をお手伝いします」「寄り添い、共に歩き、ぬくもりのある生活を支援します」と理念を掲げておられ、管理者は時々、職員に「理念は？」と聞き、職員は「事業所理念をその通りに言えるよう」に取り組まれている。又、運営推進会議時、毎回、理念を説明しておられる。事業所では「利用者のご家族との関係が続けられるような支援」を大切にされており、又、地域の方達と活動をとともにされて、利用者の生活の拡がりを支援されている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 自治会の会合や地域のお祭り等に参加させて頂いている。	
			(外部評価) 小学校からの依頼を受けて、管理者は、市社協のケアマネジャーとともに、福祉学習の授業で「認知症について」お話しをされた。翌日には、小学6年生の児童が事業所に遊びに来てくれ、利用者や職員と輪投げやお手玉と一緒に遊び、子ども達から「おばあちゃんすごいね」という声も上がったようだ。又、小学校の学習発表会に招かれ、子ども達が作成した「認知症の劇」も見せてもらった。津島の夏祭りでは、利用者や職員も地域の方達と輪になって盆踊りを踊ったり、事業所周りの田んぼに植えられるコスモスの種まきや種ひろい等、地域の活動へも参加しておられる。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 推進会議等を通じて話をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)	
			<p>会議で提案された事を実践している。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>頻繁に連絡を取り合い、入所者さんの相談にも対応して頂いている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>身体拘束をしない事を理解しケアをしている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>夜間、足元にふらつきがみられる方のために、夜間はソファーを動かして、手すり替わりにしてトイレまで行けるようにされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)	
			研修・資料等にて学び徹底している。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)	
			親しい弁護士や、司法書士に指導して頂いている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)	
			質問を受け理解して頂けるよう努力している。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)	
			意見や要望はスタッフで話し合い改善している。又家族に対してや推進会議でも報告している。	
			(外部評価)	利用者が楽しむ、輪投げの用具を職員が段ボールで手作りしておられたが、ご家族が木で作ってくださり、大切に使用しておられる。毎日、来られるご家族や毎週来られるご家族もあり、事業所の「明るい雰囲気」を楽しみに来訪するご家族も多い。来訪時には、利用者ご本人の様子を伝えたり、ケアへの要望を聞き取っておられる。又、遠方のご家族には、2か月に一度、写真を添えて、日頃の様子を報告されている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 2ヶ月に一度職員だけの会議を行い主任より報告をされている。	
			(外部評価) 2ヶ月に1度、職員のみで職員会議を行っておられる。運営者からユニット間での職員の異動について提案があった際には、職員が会議で話し合い「利用者やご家族との馴染みの関係を大切にしたい」という理由をまとめられて、職員の異動を行わないことに決まったようである。又、利用者の状態に合った介護用ベッドの購入等も実現された。職員は、毎日「気づきノート」に、自分が行って「うまくいったこと」「失敗したこと」「ご家族から聞いたこと」等を記入するようになっており、全職員が内容を共有して、他の職員の考えを知ったり、ケアのヒントとして活用されている。法人は社宅を所有しており、職員は必要に応じて社宅に住み、働ける環境が作られている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 時間外勤務はさせない。役割分担し業者との交流、注文を任せている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) ケアについての意見交換、GH連絡会の研修に参加している。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 他施設見学や食事会をして交流を図っている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 不安や要望を傾聴し安心して暮らせるよう努力している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 御家族の思いを理解しようと努力し気楽に話せるよう配慮している。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談内容によっては他の事業所を紹介している。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 食事や日課を共に行い多くの事を教えて頂いている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 御本人の体調が悪い時は御家族が夜間も付き添って協力して頂いている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 入所時から変わりなく面会に来たり、お墓参り等に出かけられている。 (外部評価) 毎年、利用者ご本人のお誕生日のお祝いに参加して下さるご家族が、今年のご都合で参加することができなかったようで、ご家族へは、利用者とともに赤飯を届けられた。地域の婦人会のお世話をされていた時の仲間や習いごとの仲間が訪ねて来てくださったり、手紙でやり取りされている方もいる。遠方のご家族から贈りものが届いた時には、電話でお礼を伝えられるようにサポートされたり、担当職員から出すお礼状に、利用者も「ありがとう」と書く等、ご本人の気持ちを伝えられるようサポートされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) レクレーションや日課でお互いに交流が図れるよう支援している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院等で利用が終了してもお見舞い、御家族の要望で支援している。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) その人らしい暮らしを続ける為に、御本人の思いや希望を把握しようと努め、職員間で検討している。	
			(外部評価) ご家族にも日々の介護記録を見ていただき、普段の利用者ご本人の様子や職員の対応等を知っていただいた上で、ご家族の要望等をお聞きして介護計画に反映されている。今後、事業所では、新たなアセスメントツールを用いて、利用者ご本人の求めていることをさらに具体的に探っていきたいと話しておられた。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 出来る限りの情報収集をしているが独居だった為、難しい方もおられる。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 入所時の情報や入所後の状況を観察し職員間で話し合うようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合 い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状 に即した介護計画を作成している</p>	(自己評価)	<p>本人・御家族の希望を中心にカンファレンスにて意見をまと め作成している。</p>
			(外部評価)	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫 を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しな がら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	(自己評価)	<p>日々の暮らしやケアプランの評価を話し合い見直ししてい る。</p>
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズ に対応して、既存のサービスに捉われない、柔 軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでい る</p>	(自己評価)	<p>本人・御家族の状況に応じて通院、外出の支援をしている。</p>
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把 握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊 かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	(自己評価)	<p>地域の方に見守りや声掛けをお願いしている。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	(自己評価)	
			<p>入所前のかかりつけ医やホームの協力医療機関と連携を図り支援している</p>	
			(外部評価)	
			<p>協力医が月2回往診に来てくれるようになってきている。以前からのかかりつけ医を受診される場合には、協力医から、かかりつけ医に情報提供を行なってくださり、受診結果も協力医が把握してくださっている。ご家族が受診に付き添われた場合は、かかりつけ医から事業所に連絡があり、気を付けること等を知らせてくださっている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	(自己評価)	
			<p>看護職員に報告・相談し健康管理を行っている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	(自己評価)	
			<p>入院時は出来る限り面会に行き安心できるようにしている。病院側からも経過報告がある。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>看取りの指針を定め、本人・御家族の希望を聞きながら、かかりつけ医を交えて話し合いをしている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>利用者の状態変化時には、協力医から説明がある際にはご家族とともに職員も聞き、今後のご本人の暮らし方について話し合っておられる。現在、ほとんどのご家族が「最期までホームでお願いしたい」と希望されており、急変時の対応については、具体的に救急搬送・延命治療について等、ご家族の意思を確認されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 看護職員を中心に定期的に勉強会をしている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 地域の協力者にも参加して頂き、昼夜の避難訓練を実施している。	今後、事業所では避難する場合の利用者の避難の順番や、職員が利用者を背負って避難させることも想定して「職員が、利用者を背負うことができるのか」についても把握していきたいと話されていた。又、現在の避難場所に建物が立つため、新たな避難場所の検討や今後、設置を予定している緊急通報装置を使った訓練も行っていきたいと考えておられた。
			(外部評価) 年3回、夜間や昼間の火災を想定した避難訓練を行っておられる。内、1回は、地域の方にも参加していただき、利用者の避難誘導を手伝っていただいた。利用者が避難を終えた居室には、「確認済み」がわかるように表示をすることになっている。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 誇りやプライバシーに配慮した声かけをしている。	
			(外部評価) 職員は、利用者との会話の中から、個々を理解するためのヒントを探して「思い込み、押し付け」のケアは行わないよう気を付けておられる。ご自分では移動することが難しい利用者の方に「お部屋に帰られますか？ここに居られますか？」とお聞きして、ご本人の希望に合わせて職員2名が支えて居室に戻っていかれる利用者の様子がみられた。調査訪問時、職員は利用者の耳元でそっと声かけをされていた。又、利用者が行ってくれたこと等については「ありがとうございます」とお礼を言っておられる場面がみられた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 各担当者を中心に本人の思いや希望を引き出すようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 天候や体調に合わせて希望された日課を過ぎて頂いてい る。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	(自己評価) 本人の行きつけの美容院やスーパーに出掛けている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 地元の食材を使い会話しながら一緒に下をしている。	
			(外部評価) 事業所では、季節の食材を採り入れ、利用者に食べたいも のをお聞きして食事作りをされている。お寿司がお好きな利 用者が多く、週1回、メニューに採り入れておられる。食後 には、利用者は自ら洗い物をされる様子がかがえた。食事を 摂ることが難しくなってきた利用者の方もおられるが、利用 者、ご家族の希望で胃ろうはせず、おかゆや食べやすいよ うな形態に調理して口から食べることを時間をかけて支援され ていた。ご家族が来られた際には、ご家族が食事の介助をさ れている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 健康維持が出来るように食事量・水分量を把握し健康管理 に努めている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 食後口腔ケアの声かけ誘導している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄パターンや習慣を把握し支援している。 (外部評価) 病院に入院していた方が、おむつを使用したまま入居された際には、ご本人の尿意の状態を観察して、時間をみながらトイレに座っていただくように支援をすすめ、トイレで排泄できるようになった事例がある。トイレの場所を迷う利用者には、扉に「トイレ」と表示することで、ご自分で行けるようになった事例がある。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 食事や水分を摂る事で便秘を解消している。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 朝入浴を希望される方もおられ、本人の生活習慣やペースに合わせて支援している。 (外部評価) 現在は、入浴は火曜と木曜の週2回となっている。夏場は、週3回入浴できるよう支援され、希望があればシャワーを浴びることも支援されている。入浴を嫌がるような利用者には「どうして嫌がるのか」を職員で話し合い「顔にお湯がかかるのがいや」ということが分かり、シャンプーハットを用意して解決し、入浴を楽しむ支援につながったという事例がある。又、ご自分専用のシャンプーやボディタオルを使っておられる方もいる。一人で入る方には、職員が時々声かけをしながら安全に入浴できるよう支援されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 遅い時間まで眠れない入所者さんは夜勤者とテレビを観たり、会話を楽しまれる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 症状の変化があれば、かかりつけ医に報告し指導して頂いている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 得意な事でホームのお手伝いをしたり、職員と外出し気分転換を図られている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 希望の日や時間帯を聞き取り御家族や地域の方の協力を得ながら支援している。	
			(外部評価) 「買物に行きたい」等、利用者の希望があった場合、その日にできることは職員で話し合い支援されている。又、「家に帰りたい」等の希望は、ご家族と相談しながら支援をされている。ご家族や運営推進会議のメンバーの協力も得て、南楽園に外出した際には、利用者個々に1名ずつ付いていただき、一緒に外出を楽しまれた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人の希望により御家族の理解を得て銀行や買い物に出掛けている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 御家族や友人に手紙を書いたり、贈り物が届いたら電話をかけている。又本人で携帯電話を所持している方も居られる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>時計やカレンダーを見やすい位置に掛け、季節の花を生け心地よく過ごして頂けるように配慮している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所の周りは田園が広がり、季節を感じながら散歩ができる環境である。利用者が散歩の途中に見つけた四つ葉のクローバを台所のカウンターに生けておられた。利用者は、日中はほとんどの時間を居間で過ごされるようで、調査訪問時、職員と輪になって、わなげを楽しんでおられたり、職員と一緒に本を読んでいる様子もうかがえた。ご家族の中には小さな子どもを連れて来てくださる方も多く、玄関には、子ども用のスリッパも準備されていた。西日が当たる窓辺には、ゴーヤを植えて緑のカーテン作りをされていた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>それぞれの方が自分の場所があり、自由に過ごされている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>仏壇・ソファ等馴染みの家具を置かれ落ち着いて暮らせるようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室には、冷暖房の空調は設置せず、居室内の空調設置は希望者のみということになっている。居室入口の扉の上窓が開いていて、廊下から冷房や暖房が居室の中まで届くようになっている。調査訪問時は、居室の窓や入口の扉を開放して、さわやかな風が通っていた。居室に冷蔵庫を置いて、おやつ等を楽しむ方もおられる。ご自宅で使っていたベッドを持ち込み使用している方もいる。仏壇を持って来られていたり、ご家族と撮った写真を飾っておられる方もいる。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>家具の配置等を工夫し安全に暮らせるようにしている。</p>	